

## 府南部地域

### 視覚・聴覚障害理解教育授業サポートについて ～共生社会の実現に向けて～

これからの共生社会を生きていく子どもたちが、多様性を尊重し、様々な人々に関わる力を養っていくためには、障害理解教育を進めることが大切です。視覚・聴覚障害のある子どもが学ぶ学校や学級においても、周囲の子どもたちに、障害への正しい理解や適切なかかわり方への気づきを育て、お互いを認め合い共に学び合う関係をつくっていくことは欠かせません。

子どもたちが、様々な多様性を受け入れる心情や態度を育むよう、障害理解教育の実践を一緒に考えていきませんか。

#### 支援(サポート)内容

SSC視覚・聴覚支援では、学校教育活動の中で担任の先生達が行う、【視覚障害】や【聴覚障害】を題材にした**障害理解教育授業**の「教材作り」や「授業作り」のサポートを行っています。

#### 対 象

◆京都府南部地域の小学校・中学校（依頼される対象学年に応じた内容でサポートします）

#### 授業サポート 具体例

- ◆体験にかかわる教材の紹介
  - ◆授業におすすめの絵本等の紹介
  - ◆授業展開(指導略案)の提案
- など

#### サポート(実施)の流れ

電話で相談  
授業予定の**2か月前まで**にご連絡ください。  
(視覚・聴覚担当まで)

事前アンケート(ねらい・内容等の確認)

相談(教材・授業展開等の提案)

障害理解教育授業の実施(各校)

事後アンケート

#### 授業の展開例

##### 【視覚】

- ◆見えない・見えにくい人の生活を知る
- ◆見えない・見えにくい体験
- ◆かかわり方の工夫・使いやすい道具を考える



##### 【聴覚】

- ◆きこえない・きこえにくい人の生活を知る
- ◆きこえない・きこえにくい体験
- ◆きこえにくい人とのかかわり方を考える



SSC発行の「やってみよう! 障害理解教育」もご活用ください。  
ホームページにも掲載しています。

